

平成 28 年度

熊本市エイズ総合対策推進会議

日時 平成 29 年 2 月 7 日（火）
午後 2 時～4 時

場所 熊本市総合保健福祉センター
（ウェルパルクまもと）
4 階 会議室

平成 28 年度 熊本市エイズ総合対策推進会議 次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付式
- 3 局長挨拶
- 4 会長挨拶
- 5 議事
 - 1) エイズの現状と課題
 - 2) 熊本市エイズ対策事業報告
 - 3) 平成 25～29 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策について
 - 4) トピックス 「HIV／AIDS 患者の地域での療養支援への取り組み」
 - 5) その他
- 6 閉会

資料目次

- 1) エイズの現状と課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2) 熊本市エイズ対策事業報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7
- 3) 平成 25～29 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策について・・・・・・・・・・13
- 4) トピックス 「HIV／AIDS 患者の地域での療養支援への取り組み」・・・・15

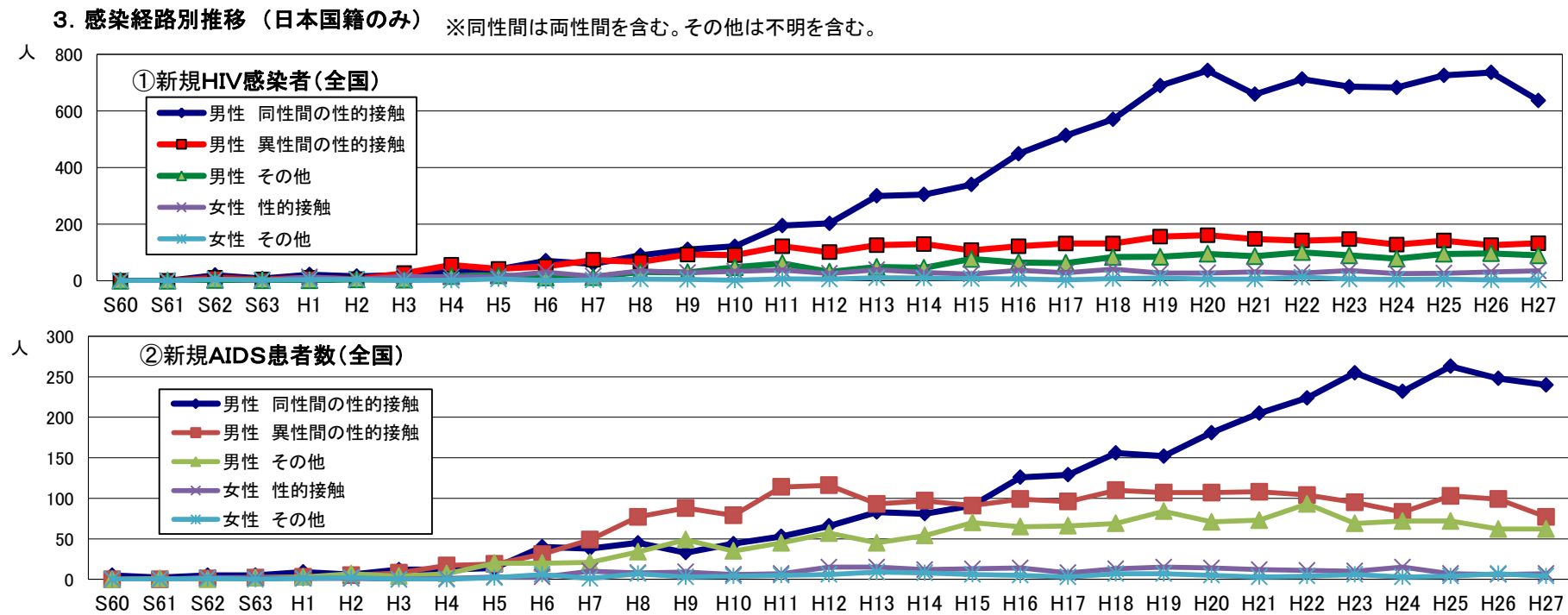
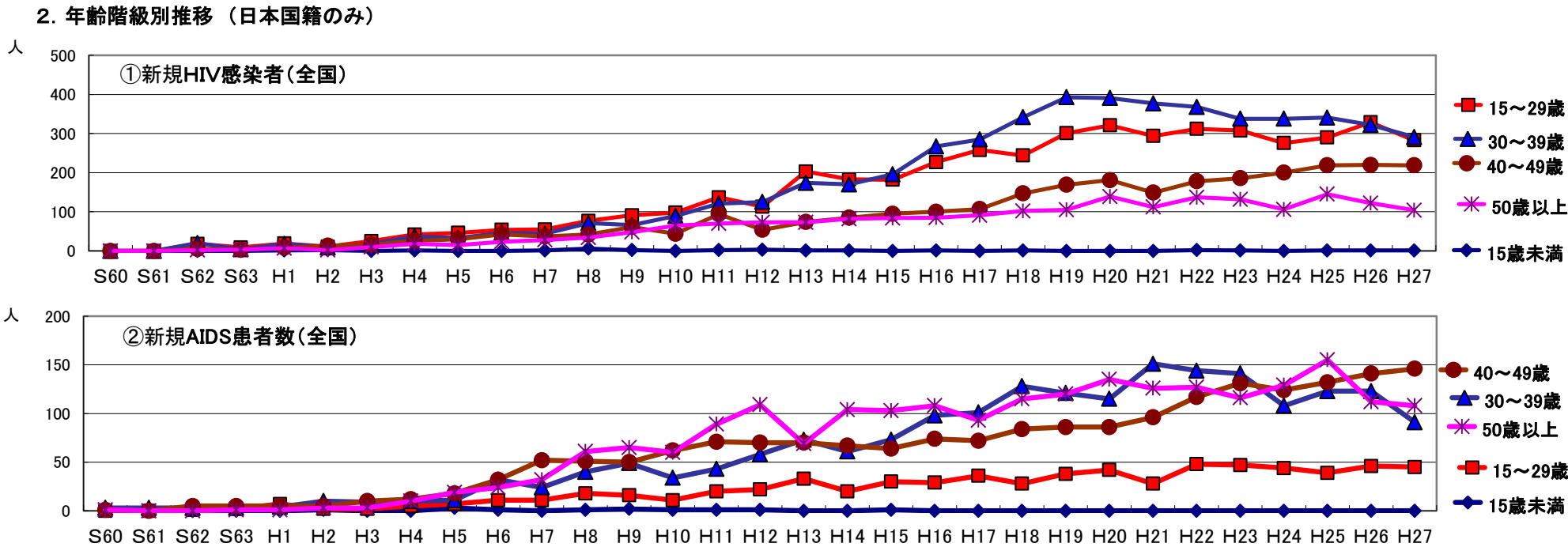
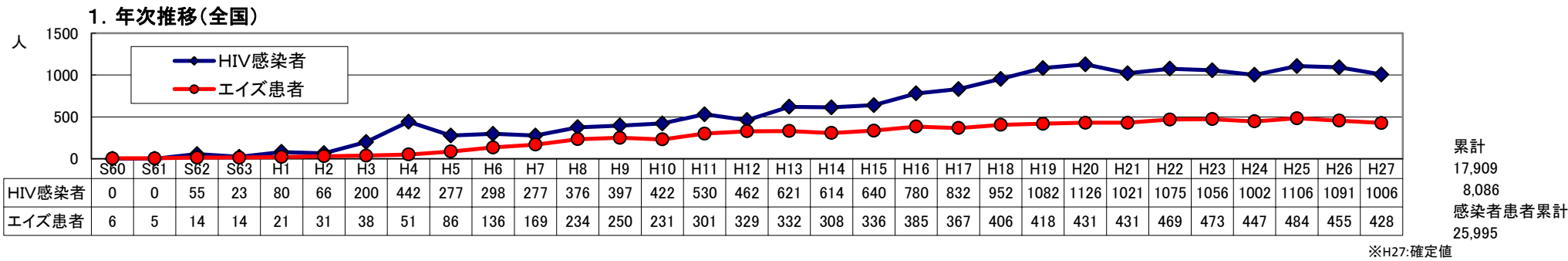
- 情報「エイズ動向委員会報告 2016 年 11 月」から抜粋・・・・・・・・・・16

1) エイズの現状と課題

■エイズの現状と課題について

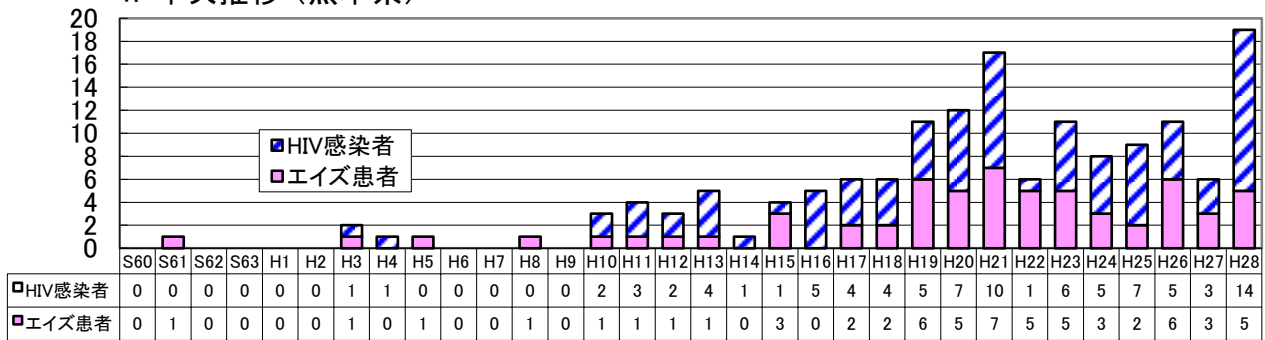
熊本大学 エイズ学研究センター
センター長 兼
松下プロジェクト研究室 教授 松下 修三 氏

■ 全国のHIV感染者・エイズ患者報告数推移



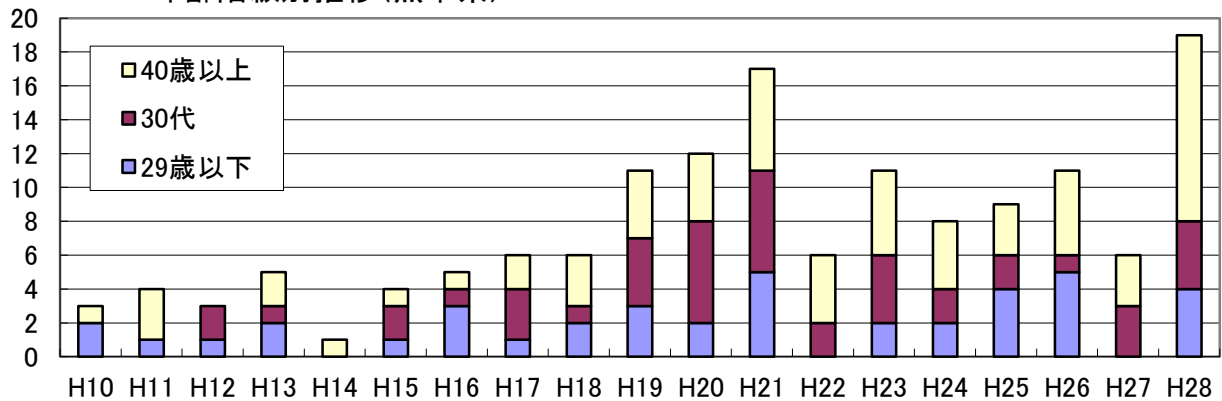
■ 熊本県のHIV感染者・エイズ患者報告数推移

4. 年次推移（熊本県）

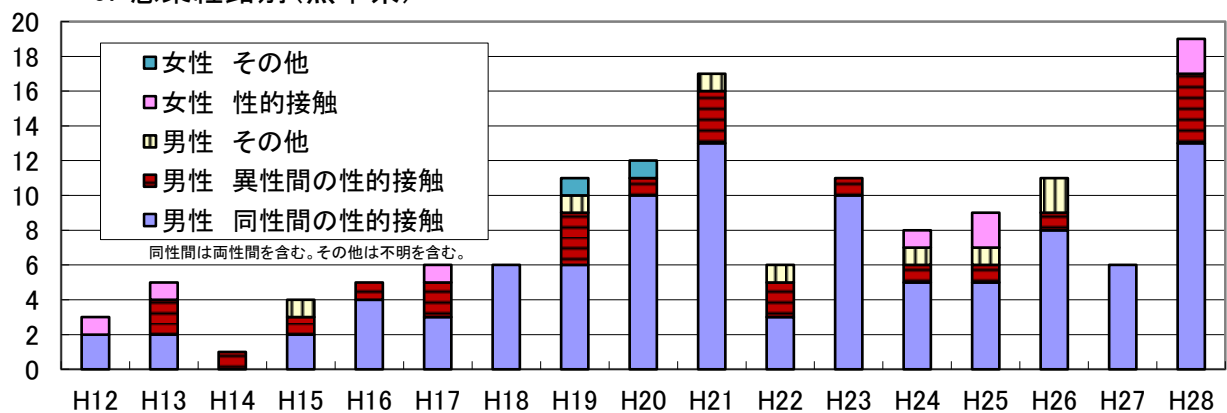


感染者累計 91
患者累計 62
感染者患者累計 153

5. 年齢階級別推移（熊本県）

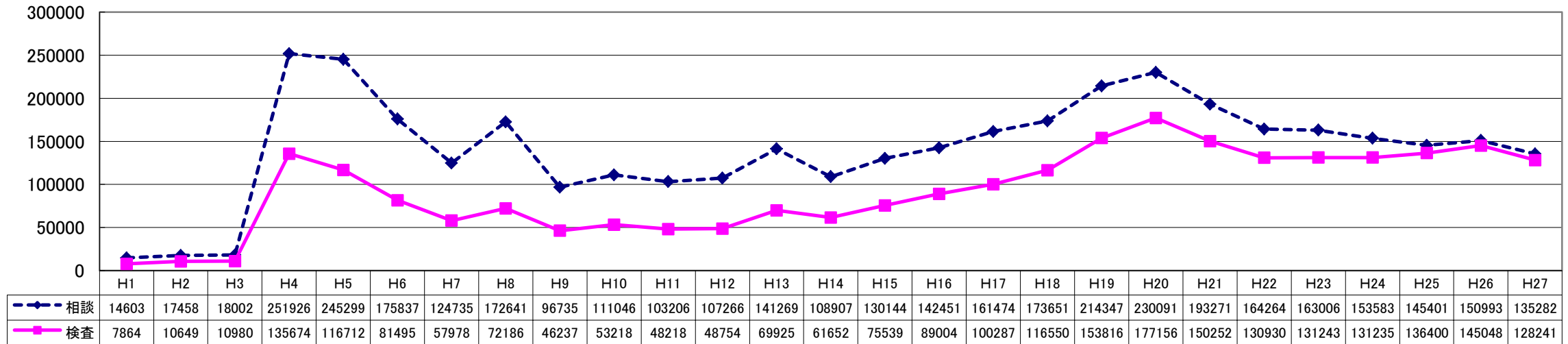


6. 感染経路別（熊本県）



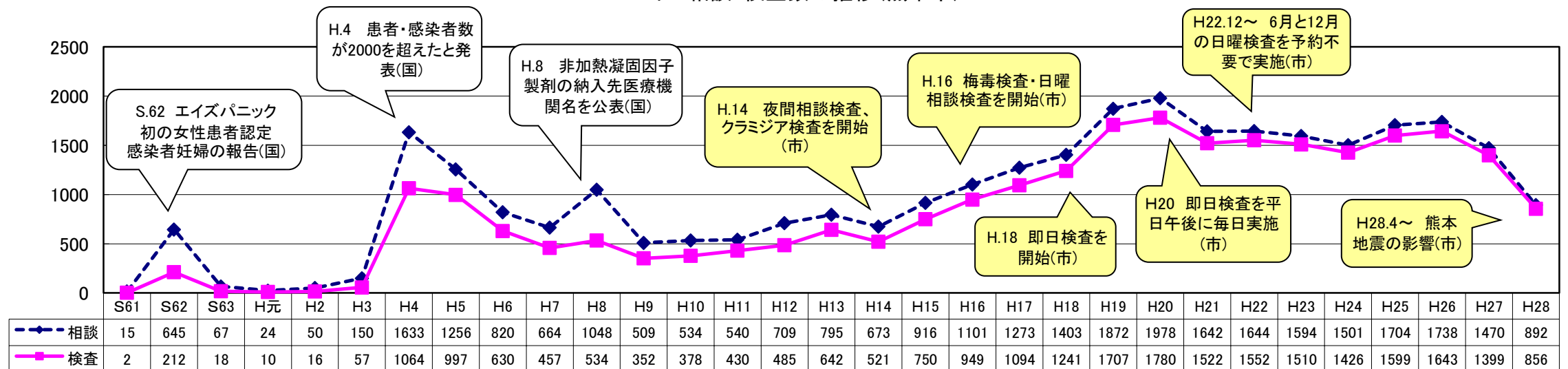
■エイズ相談・検査数推移

7. 保健所などにおけるエイズ相談・検査件数(全国)



出典 7 : 厚生労働省エイズ動向委員会によるエイズ発生動向年報及びエイズ動向委員会報告

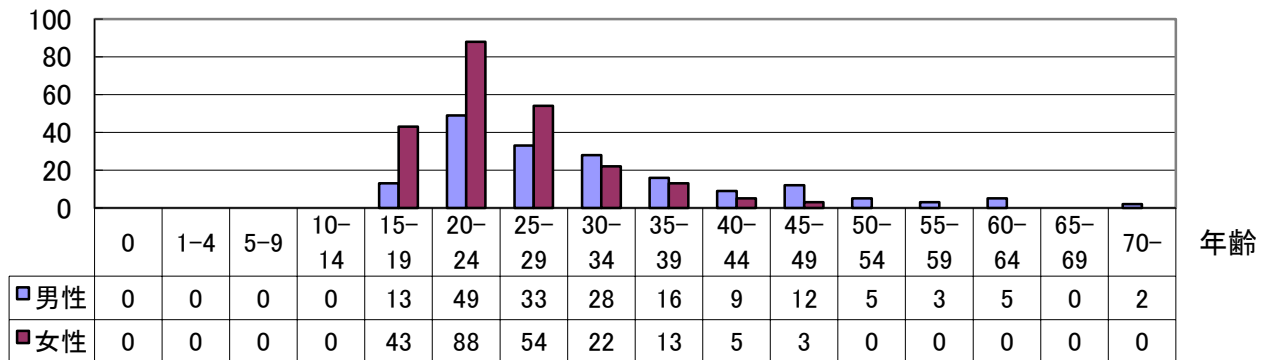
8. エイズ相談・検査数の推移(熊本市)



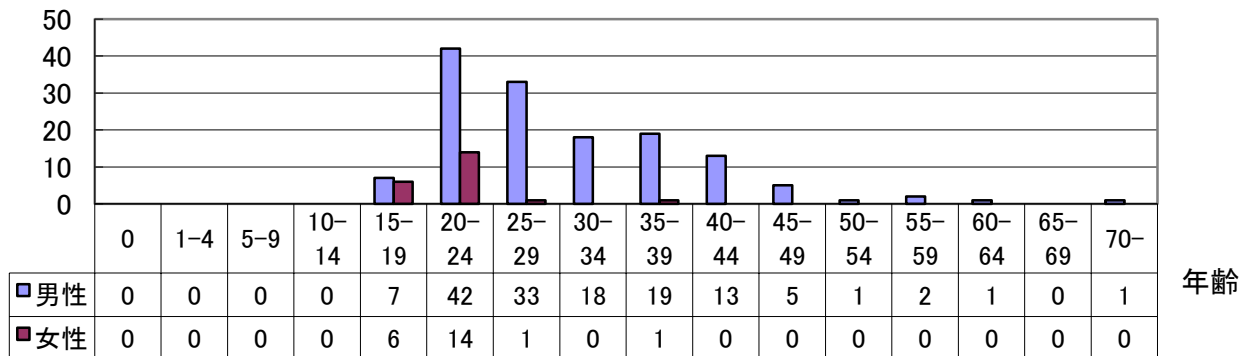
■性感染症の発生動向

※定点把握：STD定点医療機関から月1回の報告により発生状況を把握
(平成25年1月から熊本市のSTD定点数が5から6に増加)

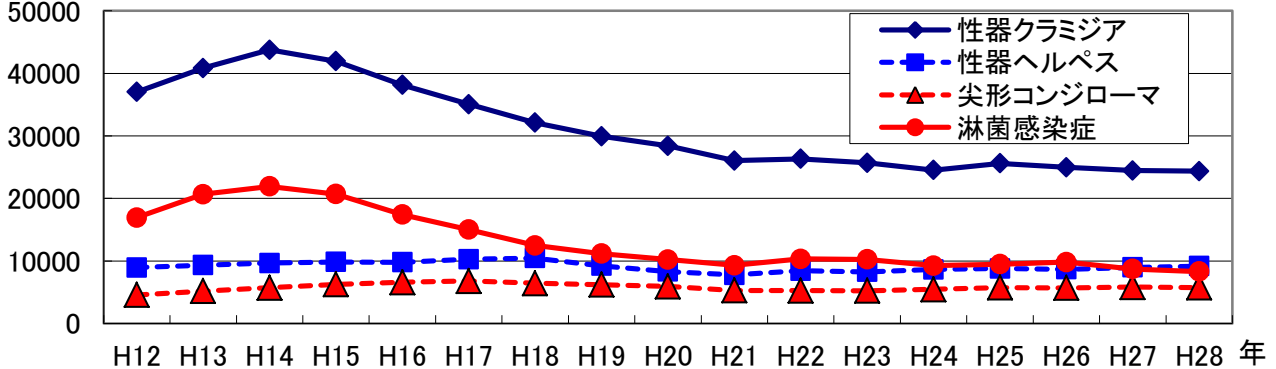
件 9. 平成28年 性器クラミジア感染症 定点医療機関報告数(熊本市)



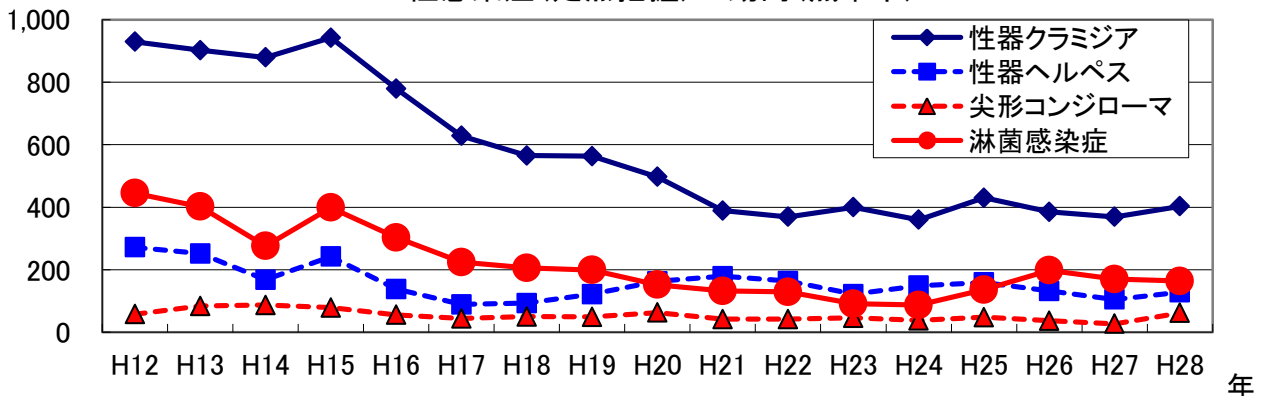
件 10. 平成28年 淋菌感染症 定点医療機関報告数(熊本市)



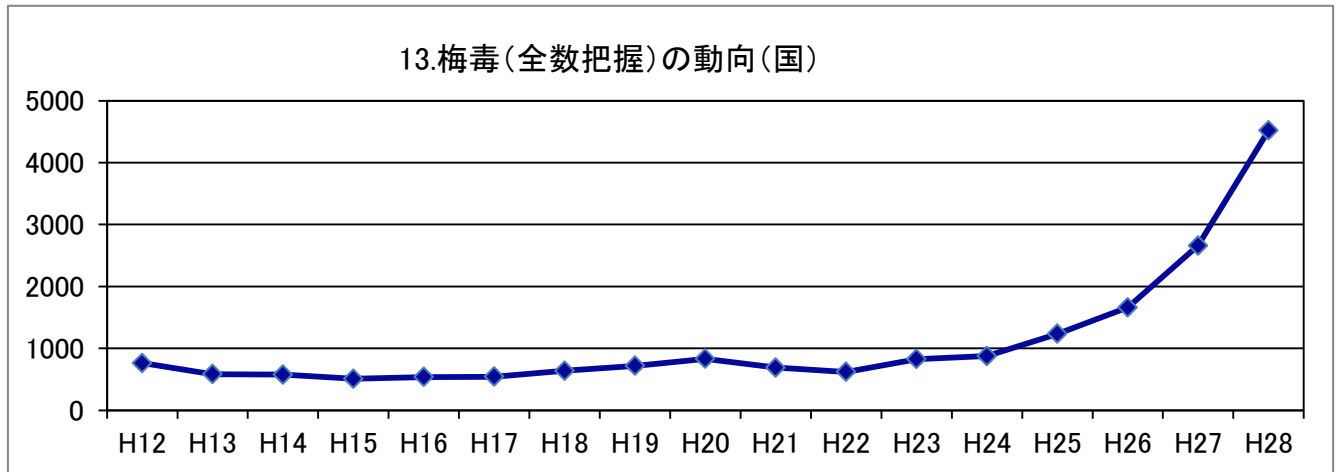
件 11. 性感染症(定点把握)の動向(国)



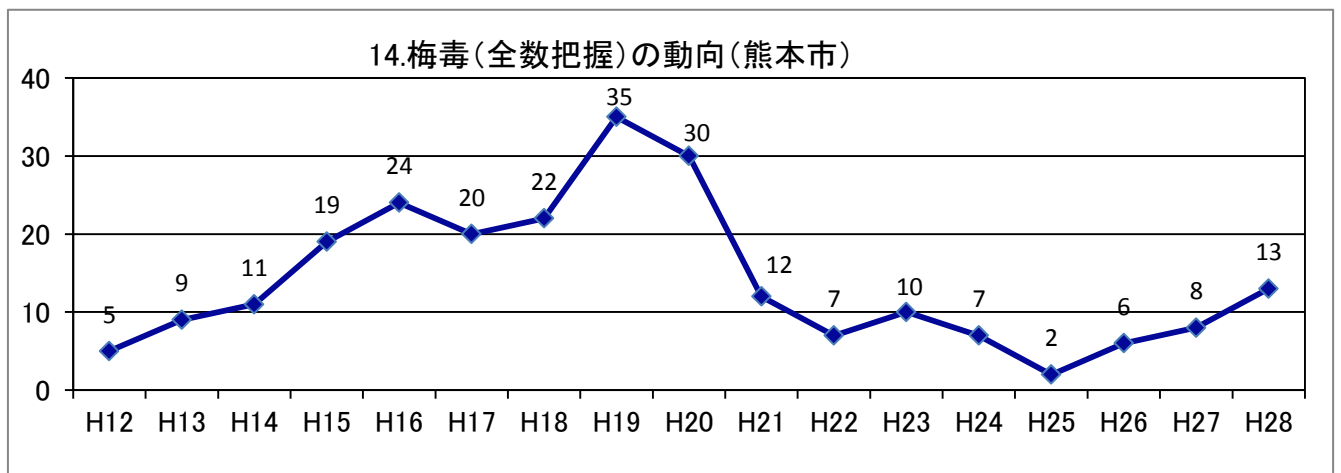
件 12. 性感染症(定点把握)の動向(熊本市)



※全数把握：梅毒は、診断した医師からの7日以内の届出により全数を把握



出典 13 : 感染症発生動向調査事



2) 熊本市エイズ対策事業報告

(H28 年度 熊本市エイズ及び性感染症対策事業 H29 年 2 月)

1 正しい知識の普及啓発

施策層	平成 27 年度報告	平成 28 年度報告 (29 年 1 月現在)
青少年	【教育関係】 ●高校・専門学校への講師派遣事業 ・周知 4 月、9 月 ・泌尿器科医、産婦人科医等の専門医を派遣 ・11 回 4,924 人 (高校 7 校、専門 4 校) ●出前講座 (性感染症予防講座) ・15 回 2,855 人 (中学 14 校、高校 1 校) ・周知 4 月、9 月 ・出前講座事前・事後アンケートによる講話内容理解度の把握 【啓発活動】 ●高校文化祭・大学学園祭でのキャンペーン ・2 高校 2 日間 168 人 (必由館、熊本中央) ・2 大学 2 日間 102 人 (熊本保健科学大、崇城大) ●アンケート調査による若者の実態把握 (高校、大学でのキャンペーン時) 270 人 ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科、教育学部養護教諭養成過程、養護教諭特別別科 12 人 ●高校・専門学校等巡回パネル展 「H I V × (日常) × わたし。」※¹ ・高校 5 校 (湧心館、必由館、熊本中央、熊本西、支援学校) ・専門学校 1 校 (熊本歯科技術) ・その他研修会会場等 5 回 【啓発物作成・配布】 ●中学生向けオリジナルパンフレット 改訂・配布 14 校 2,380 部 ●啓発物配布 (キャンペーン時など) ●パンフレット提供 (購入分) (各団体、学校、事業者等) ●教育用 DVD 貸出し 4 ヶ所 7 回 (中学校、児童相談所)	【教育関係】 ●高校・専門学校への講師派遣事業 ・周知 4 月、8 月 ・泌尿器科医、産婦人科医等の専門医を派遣 ・8 回実施 2,795 人 (高校 5 校、専門 3 校) 1 回予定 (3 月) ●出前講座 (性感染症予防講座) ・11 回実施 1,683 人 (中学 11 校) 1 回予定 (2 月) ・周知 4 月、8 月 ・出前講座事前・事後アンケートによる講話内容理解度の把握 【啓発活動】 ●高校文化祭・大学学園祭でのキャンペーン ・1 高校 1 日間 (必由館) ※大学学園祭でのキャンペーンは中止 ●アンケート調査による若者の実態把握 (高校でのキャンペーン時) 90 人 ●ピアエデュケーターとの協働 熊本大学医学部保健学科、教育学部養護教諭養成過程学生 6 人 ●高校・専門学校等巡回パネル展 「H I V × (日常) × わたし。」※¹ ・高校 1 校 (必由館) ●大学での健康診断会場での啓発キャンペーン ※地震のため中止 (4/27, 28 予定分) 【啓発物作成・配布】 ●中学生向けオリジナルパンフレット 改訂・配布 10 校 1,790 部 ●啓発物配布 (キャンペーン時など) ●パンフレット提供 (購入分) (各団体、学校、事業者等)
MSM (男性)	【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※²との協働】	【熊本のゲイ当事者サークル「Safety Blanket」※²との協働】

間で性 行為を 行う者 をいう。 以下同 じ。)	●連絡会の実施 ・拡大会（4月：関係者による活動状況についての意見交換）Safety Blanket、LOVE Act Fukuoka（福岡のNPO）、熊本大学医学部附属病院エイズ診療従事者、熊本県、熊本市 ・担当学会議（3回：具体的な活動案について意見交換）：Safety Blanket、熊本大学附属病院エイズ診療従事者、熊本市 ・メール等による情報交換（随時） ●MSM 対象茶話会の実施（場所提供） 4回 30名 ●MSM 対象勉強会の実施 2回 9名 ●啓発物作製（検査案内チラシ、ステッカー、メッセージ付き消しゴム） ●啓発物のゲイコミュニティでの配布 ●ホームページへのリンク 本市エイズ検査相談のページに Safety Blanket のホームページをリンク 【その他】 ●相談室へのパンフレット陳列、配布 ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集	●連絡会の実施 ・拡大会（9月：関係者による活動状況についての意見交換）Safety Blanket、LOVE Act Fukuoka（福岡のNPO）、熊本大学医学部附属病院エイズ診療従事者等、熊本県、熊本市 ・担当学会議（1回実施予定：具体的な活動案について意見交換）：Safety Blanket、熊本大学附属病院エイズ診療従事者、熊本市 ・メール等による情報交換、打ち合わせ（随時） ●MSM 対象茶話会の実施 1回 9名 ●MSM 対象勉強会の実施 1回 予定 ●啓発物のゲイコミュニティでの配布 ●ホームページへのリンク 本市エイズ検査相談のページに Safety Blanket のホームページをリンク 【その他】 ●相談室へのパンフレット陳列、配布 ●セクシュアリティに配慮した啓発活動・情報収集
外国人	●外国語パンフレット陳列、配布 ●市ホームページ（英語版）	●外国語パンフレット陳列、配布 ●市ホームページ（英語版）
性風俗 産業従 事者利 用者	●店舗型性風俗特殊営業所の責任者へパンフレット配布、検査の情報提供（24ヶ所） ●検査相談利用時に個別に情報提供	●検査相談利用時に個別に情報提供
薬物乱 用者	●情報収集	●情報収集
一般市 民	【マスコミ】 ●広報：ラジオ 4回 ●市政だより：6月号、12月号 ●テレビ：報道（パネル展、会議）2回 ニュース番組での特集（高校でのキャンペーン、Safety Blanket との取り組みを紹介）1回 【啓発物配布】 ●エイズ予防啓発ポスター ・ポスター、ステッカー配布先の拡大（一般事業所、市・国関連施設、団体等） ・HIV 検査普及週間・エイズデー啓発ポスターによる啓発 2回 ・メール予約お知らせポスターの送付 11月	【マスコミ】 ●広報：ラジオ 4回実施、2回予定（2月） ●市政だより：12月号 【啓発物配布】 ●エイズ予防啓発ポスター ・エイズデー啓発ポスターによる啓発 1回 ・性感染症予防ポスター、チラシ、コンドーム配布

●ウェルパルクまもと1階ロビーに啓発パンフレットを配置（常時） ●保健所、区役所でのパンフレット・啓発物配布 ●エイズ検査広報ステッカー作成・掲示 ・本庁舎トイレ、ウェルパルクまもとトイレへの掲示（張替え） ・熊本県バス協会、熊本市交通局（市電）へステッカー提供、車内への掲示依頼 *バス会社4社1,200枚（新規）、交通局200枚（張替え） ・事業所、学校等への提供 随時 ●エイズ検査広報カード作成・配布 【イベント】 ●人権映画上映会での啓発キャンペーン ・12/1(火) 熊本市人権推進総室主催の人権映画上映会にて、映画「フィラデルフィア」上映前にステージイベントを行った。 ・熊本市の若者によるエイズ啓発グループ Safe LOVE Kumamoto^{※3}との協働により実施。ボランティア（学生、社会人等）8人が参加。 （内容）・エイズの基礎講座（スライドを使った解説）、ファッションショー、 パネル朗読、オリジナル検査啓発カードの作成、配布 150枚 ●巡回パネル展「H I V ×（日常）×わたし。」 ・全国性教育研究大会、九州ブロック性教育研究大会（パレアホール、森都心プラザ）8/2～8/4（3日間） ・L G B T文化祭（熊本市内）12/5 ・市主催のエイズ啓発イベント等で展示 *街頭エイズキャンペーン 11月末 *エイズパネル展の拡大実施 ウェルパルクまもと玄関ホール（5～7月、11～12月） *エイズ相談室周辺（常設展示） ・熊本県栄養士会研修会 ・水俣保健所へ貸し出し（11月） 【ホームページ】 ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新 ●聴覚障害者のメール予約相談に対応 ●アクセス数（件） 「熊本市エイズ検査相談^{※4}」 27年 13,887（月あたり約1,157件） 「メール予約について」 27年 4,275（月あたり約356件）	●ウェルパルクまもと1階ロビーに啓発パンフレットを配置（常時） ●保健所、区役所でのパンフレット・啓発物配布 ●エイズ検査広報カード作成・配布 【イベント】 ●街頭キャンペーン 2回3日間 （健康づくり推進課主催の健康づくりキャンペーンの一環として実施） ・11/20（日）市内自動車学校のイベントにて大学生ボランティア（くまびあ）によるステージ及び啓発物配布、ピアエデュケーション活動を実施 ・11/26（土）、27（日）新市街で行われたイベント（まちなかコレクション）にて、職員がパンフレット等の配布 100部 ●巡回パネル展「H I V ×（日常）×わたし。」 ・市主催のエイズ啓発イベント等で展示 *ウェルパルクまもと玄関ホール（11～12月） *エイズ相談室周辺（常設展示） ・水俣保健所へ貸し出し（11月） 【ホームページ】 ●熊本市ホームページを利用した情報発信、ホームページ内容の改善・随時更新 ●アクセス数（件） 「熊本市エイズ検査相談^{※4}」 28年 13,708（月あたり約1,142件） 「メール予約について」 28年 4,406（月あたり約367件）
--	--

	【出前講座】 ●出前講座（働く世代） ・事業所、地域の子育てサークル等： 3回 100人	【出前講座】 ●出前講座（働く世代） ・事業所、自治会：4回 198人
--	---	---

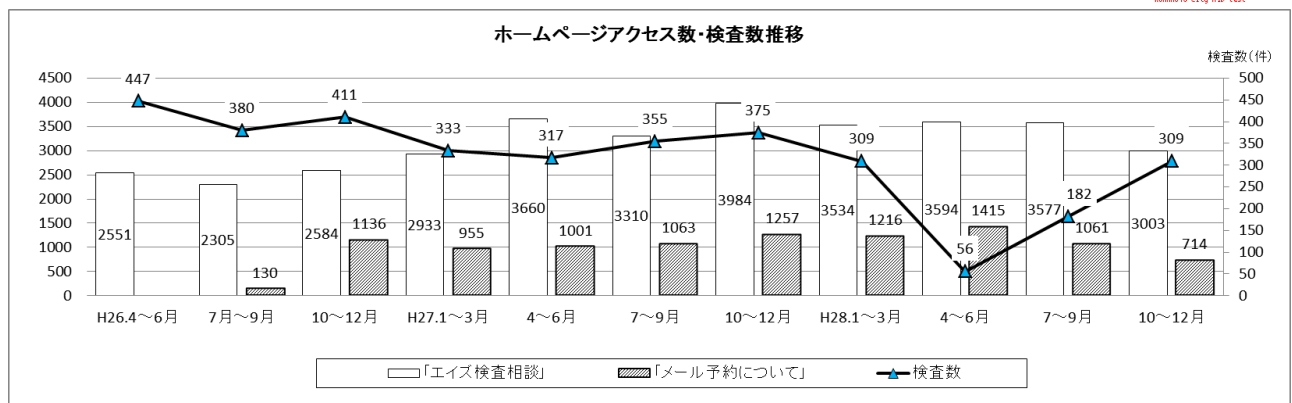
- ※1 パネル展「HIV×（日常）×わたし。」：熊本の学生、社会人、医療関係者等に行ったエイズに関するインタビューの内容と写真をパネルにしたもの。26年度の街頭キャンペーンにあわせて作製した。27年度以降は高校、専門学校、その他一般施設等で巡回展示を行う。
- ※2 Safety Blanket（旧称「KK」平成28年2月に改名）：平成25年12月に結成された熊本のゲイ当事者によるサークル。20～30代の学生、社会人で構成。26年9月から熊本市と協働してエイズ啓発活動等を行っている。
- ※3 Safe LOVE Kumamoto (SaLK)：熊本市の若者によるエイズ啓発ボランティアグループ。熊本大学の学生や社会人、約20人で構成。熊本市と協働し、街頭キャンペーンや啓発物の作製等を行っている。
- ※4 熊本市ホームページ内「エイズ検査のお知らせ」（スマートフォン対応）

http://www.city.kumamoto.jp/hpKiji/pub/detail.aspx?c_id=5&id=3355&class_set_id=2&class_id=1975

（スマートフォン用QRコード⇒）



【参考】ホームページアクセス数推移



2 相談検査体制の充実

	平成27年度報告	平成28年度報告（29年1月現在）
窓口の拡大	●エイズ検査相談体制 ・通常検査（予約不要） 月～金曜日 9：00～11：00 ・即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 （夜間）第2・4火曜日 17：30～19：30 （休日）第2日曜日 13：00～15：00	●エイズ検査相談体制 ・通常検査（予約不要） 月～金曜日 9：00～11：00 13：00～16：30 ・即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 （夜間）第2・4火曜日 17：30～19：30 （休日）第2日曜日 13：00～15：00 ※ただし、熊本地震（4/14,16）の影響により、4/15以降、変則実施中。 ※随時、熊本市ホームページにてお知らせ ■4/15～8/31 エイズ検査休止 期間中、臨時検査として通常検査3回、夜間即日検査1回実施した。

	・ 通常検査（予約不要）9：00～11：00 6/13（月）14人 7/13（水）19人 8/10（水）36人 ・ 夜間即日検査（予約制）17：30～19：00 8/23（火）4人 ■9月～ 全検査相談を予約制で実施 ・ 通常検査（予約制） 月～金曜日 9：00～11：00 ・ 即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 （夜間）第2・4火曜日 17：30～19：30 （休日）第2日曜日 13：00～15：00 ■1月～3月 夜間・休日検査を休止 （平日昼間のみ実施） ・ 通常検査（予約制） 月～金曜日 9：00～11：00 ・ 即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 ●27年実績 ・ 即日検査【27年実績（件）】 相談数 1,470 検査数 1,399 クラミジア抗体検査 1,227、梅毒検査 1,271 夜間（再掲）相談 98 検査 98 結果* 1 日曜（再掲）相談 102 検査 102 結果 1 即日（再掲）相談 1,117 検査 1,116 * 平日昼間に来られない方に対応 ・ 特例検査 6月と12月の日曜検査を予約不要で実施 ○6/14（日） 13：00～14：00 ・ 相談検査 29人 ○12/13（日） 13：00～14：00 ・ 相談検査 26人 ・ メール予約受付 平日午後（13：00～15：00）の即日検査 を対象に、メールでの予約を受け付けた。 【27年実績（件）】 ・ 問合せ数 89 （再掲）予約成立数 77、受検数 62 ・ 受検者アンケートの実施 通常・即日・特例検査時に任意でアンケートを実施	・ 通常検査（予約不要）9：00～11：00 6/13（月）14人 7/13（水）19人 8/10（水）36人 ・ 夜間即日検査（予約制）17：30～19：00 8/23（火）4人 ■9月～ 全検査相談を予約制で実施 ・ 通常検査（予約制） 月～金曜日 9：00～11：00 ・ 即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 （夜間）第2・4火曜日 17：30～19：30 （休日）第2日曜日 13：00～15：00 ■1月～3月 夜間・休日検査を休止 （平日昼間のみ実施） ・ 通常検査（予約制） 月～金曜日 9：00～11：00 ・ 即日検査（予約制） 月～金曜日 13：00～15：00 ●28年実績 ・ 即日検査【28年実績（件）】 相談数 892 検査数 856 クラミジア抗体検査 754、梅毒検査 780 夜間（再掲）相談 56 検査 56 結果 1 日曜（再掲）相談 76 検査 76 結果 0 即日（再掲）相談 628 検査 628 ・ 特例検査 12月の日曜検査を予約不要で実施 ○12/11（日） 13：00～14：00 ・ 相談検査 42人 ・ メール予約受付 平日午後（13：00～15：00）の即日検査を 対象に、メールでの予約を受け付けた。 【28年実績（件）】 ・ 問合せ数 108 （再掲）予約成立数 67、受検数 53 ・ 受検者アンケートの実施 通常・即日・特例検査時に任意でアンケート を実施
--	--	---

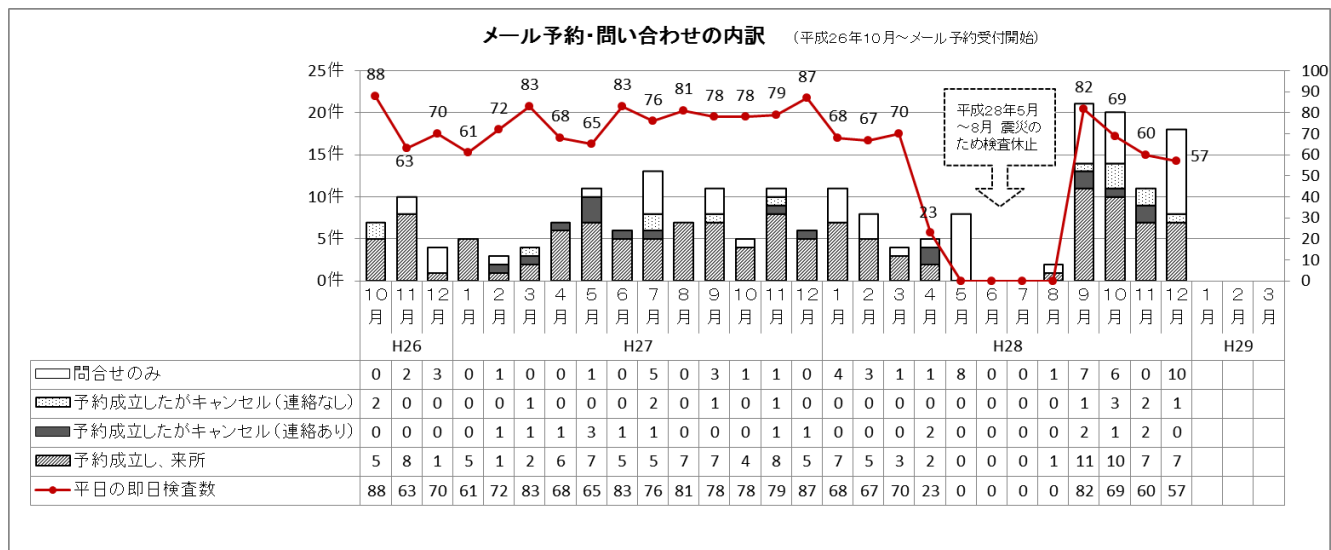
相談業務 の充実	●「平成 27 年度エイズ対策研修」国立保健医療科学院 7/28～31（4 日間）1 名 ●「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」国立病院機構九州医療センター 10/9（1 日間）1 名 ●「H I V 検査相談研修会（大阪）」エイズ予防財団 10/15、16（2 日間）1 名	●「平成 28 年度エイズ対策研修」国立保健医療科学院 7/26～29（4 日間）1 名 ●「九州ブロックエイズ拠点病院研修会」国立病院機構九州医療センター 10/7（1 日間）1 名 ●「H I V 検査相談研修会（大阪）」エイズ予防財団 10/27、28（2 日間）1 名
-------------	--	--

OHIV 検査普及週間 6/1～7

○世界エイズデー

12/1

【参考】メール予約・問合せ数推移



3 医療体制および生活支援体制

	平成 27 年度報告	平成 28 年度報告 (29 年 1 月現在)
医療体制	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●感染者・医療担当者との情報交換	●検査陽性時、拠点病院の受診に同伴（希望時） ●感染者・医療担当者との情報交換

生活支援体制：必要時に H I V に対する正しい知識を提供する

福祉制度：身体障害者手帳、更生医療による医療費助成・福祉サービス（申請窓口：障がい保健福祉課）

4 推進体制の整備

	平成 27 年度報告	平成 28 年度報告 (29 年 1 月現在)
熊本市エイズ 総合対策推進 会議	●9 月に開催 ●3 月に報告書作成 ●エイズ対策の目標値（指標）の実動計画、実施	●2 月に開催 ※熊本地震の影響により、8 月開催を 2 月開催に延期 ●エイズ対策の目標値（指標）の実動計画、実施
NGO とのパート ナーシップ 推進	●情報提供（研修会など）	●情報提供（研修会など）

3) 平成 25～29 年度 HIV 感染および性感染症の予防対策

(平成 28 年実績)

指標及び目標値

① HIV 抗体検査数の増加

平成 29 年の検査数 1,780 件 (過去最多の平成 20 年の件数)
(現状) 平成 24 年 : 1,426 件 ⇒ (目標) 平成 29 年 : 1,780 件

② 性器クラミジア感染症報告数の減少

平成 29 年の報告数 324 件 (平成 24 年報告数の 10%減)
(現状) 平成 24 年 : 360 件 ⇒ (目標) 平成 29 年 : 324 件

①HIV 抗体検査数の増加

【施策 (実施内容)】

●相談検査体制の充実

- ・予約不要の休日検査 (特例検査) を年 2 回 (6 月、12 月) の定例化で実施
- ・プライバシーに配慮した体制、相談員研修の充実
- ・メールによる予約受付

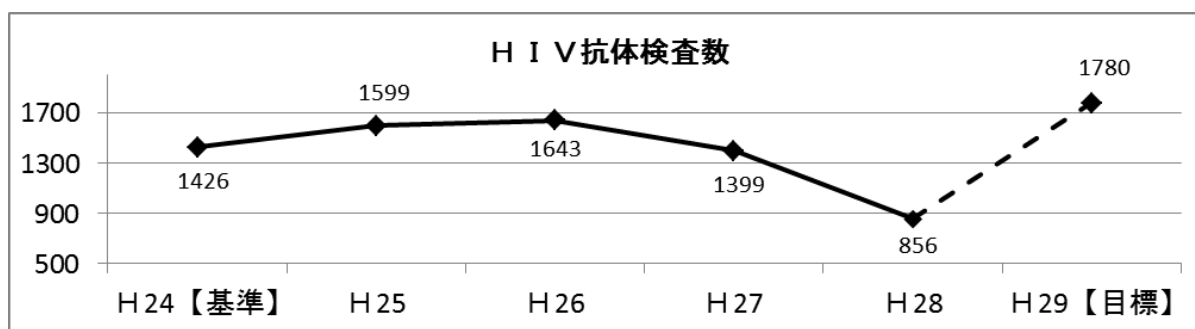
●検査に関する広報の充実

- ・ホームページ改善、ポスター、ステッカー、検査啓発カード等の作成・配布
- ・高校・専門学校への講師派遣時に感染症対策課職員が熊本での現状と検査について講話
- ・街頭キャンペーンでのアピール

【実績】平成 26 年まで増加傾向に転じていたが、27 年には減少、28 年は 4 月に熊本地震が発生した影響で検査数が半減した。(平成 28 年 4 月 15 日～8 月 31 日まで検査休止、臨時検査 4 回実施。以降受入数を制限しながら継続。)

年	H24(基準)	H25	H26	H27	H28	H29(目標)
HIV 抗体検査数 (件)	1,426	1,599	1,643	1,399	856	1,780
(再掲) 通常検査 (件)	335	399	414	283	228	
(再掲) 即日検査 (件) (検査数に占める即日検査の割合)	1,091 (76.5%)	1200 (75.0%)	1229 (74.8%)	1116 (79.8%)	628 (73.4%)	
エイズ相談数 (件)	1,501	1,704	1,738	1,470	892	

※H29 は目標値



【評価・今後の方針】 平成28年は熊本地震の影響で検査数が減少しているが、新規感染者・患者の報告数が増加しており、これまでの啓発等の効果が出ているものと評価できる。今後は、検査数の増加だけでなく、リスクグループ（青少年、MSM等）の利用をいかに増やしていくかに焦点を当てた取組みを行っていく必要がある。

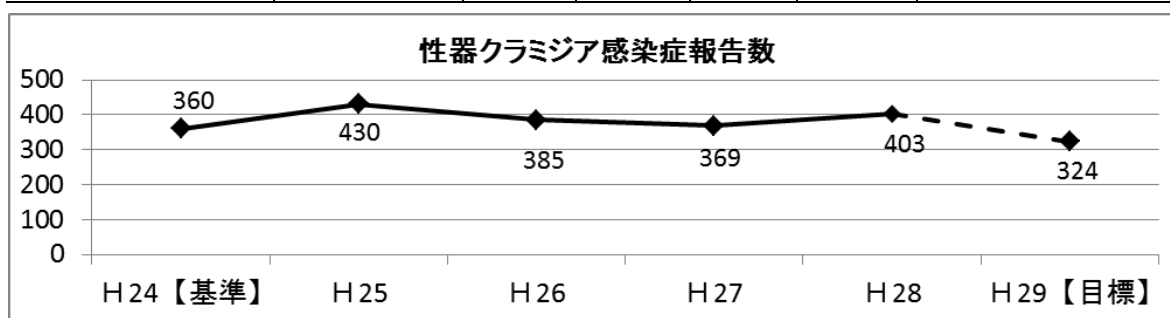
②性器クラミジア感染症報告数の減少

【施策（実施内容）】

- 性感染症予防教育の実施：中学3年生、高校生等への出前講座、高校への講師派遣事業、保護者や企業等への研修会等のアプローチ
- 高校・専門学校への講師派遣時に感染症対策課職員が熊本での現状と検査について講話
- 高校文化祭、大学学園祭で、大学生ボランティアによるピアエデュケーション（仲間教育）を実施

【実績】平成25年以降減少傾向から横ばいであったが、28年は基準より43件多かった。

年	H24(基準)	H25	H26	H27	H28	H29(目標)
性器クラミジア感染症報告数（件）	360	430	385	369	403	324



※H29は目標値

【評価・今後の方針】 性器クラミジア以外の性感染症も含め、今後も若年者への啓発・教育を継続して行い、予防や早期発見・早期治療につなげていく必要がある。

4) トピックス

「H I V／A I D S患者の地域での療養支援への取り組み」

熊本大学医学部附属病院
地域医療連携センター
看護師長 井原 国代 氏

■ 情報 「厚生労働省エイズ動向委員会報告 2016 年 11 月」から

○委員長コメント

○表 2 平成 28 年 11 月 16 日現在の HIV 感染者及びエイズ患者の
国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

○表 3 HIV 感染者及びエイズ患者の都道府県別累計報告状況

第147回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成28年第3四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成28年6月27日～平成28年9月25日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は261件（前回報告239件、前年同時期236件）
そのうち男性255件、女性6件で、男性は前回（232件）より増加し、前年同時期（223件）より増加、女性は前回（7件）より減少、前年同時期（13件）より減少
3. 新規AIDS患者報告数は113件（前回報告112件、前年同時期103件）
そのうち男性109件、女性4件で、男性は前回（100件）より増加、前年同時期（98件）より増加、女性は前回（12件）より減少、前年同時期（5件）より減少
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は374件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが190件（全HIV感染者報告数の約73%）
 - 異性間性的接触によるものが44件（全HIV感染者報告数の約17%）
そのうち男性40件、女性4件
 - 静注薬物によるものは0件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、20～30代が多い。
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが64件（全AIDS患者報告数の約57%）
 - 異性間性的接触によるものが26件（全AIDS患者報告数の約23%）
そのうち男性24件、女性2件
 - 静注薬物によるものは1件
 - 母子感染によるものは0件
 - 年齢別では、30～40代が多い。

【検査・相談件数の概況（平成28年7月～9月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は20,635件
（前回報告速報値21,080件、前年同時期速報値22,043件）
自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は6,965件
（前回報告速報値7,214件、前年同時期速報値7,292件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は28,204件
（前回報告速報値28,922件、前年同時期速報値31,630件）

【献血の概況（平成28年1月～9月）】

1. 献血件数（速報値）は、3,628,227件（前年同時期速報値3,670,194件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は28件（前年同時期速報値35件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、0.772件（前年同時期速報値0.954件）

《まとめ》

1. 新規HIV感染者報告数及び新規AIDS患者報告数は、共に前回及び前年同時期より増加し、合計数で前回より23件、前年同時期より35件増加した。
2. 保健所等におけるHIV抗体検査件数及び相談件数は、共に前回及び前年同時期より減少した。
3. 新規HIV感染者は20～30代、新規AIDS患者は30～40代で報告数が多く、いずれも20～70代までの幅広い年齢層において報告が認められた。
4. 12月1日は世界エイズデーである。治療の進歩により、社会では既に多くのHIV陽性者が、働き、学び、生活している。HIV/AIDSは過去の問題ではなく、一人ひとりが今、具体的な行動を取ることが重要であることから、本年度は「知っていても、分かっている A I D S I S N O T O V E R」がテーマとして策定された。また、厚生労働省では、エイズデーに合わせて啓発イベントを実施する。ぜひ何ができるのかを考える機会にして頂きたい。

感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報

平成28年9月25日現在のHIV感染者及びエイズ患者の国籍別、性別、感染経路別報告数の累計

診断区分	感染経路	日本国籍			外国国籍			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
HIV感染者	合計	14,630	932	15,562	1,599	1,437	3,036	16,229	2,369	18,598
	異性間の性的接触	2,882	763	3,645	434	845	1,279	3,316	1,608	4,924
	同性間の性的接触 ^{*1}	10,224	4	10,228	648	1	649	10,872	5	10,877
	静注薬物使用	41	2	43	27	3	30	68	5	73
	母子感染	18	9	27	5	8	13	23	17	40
	その他 ^{*2}	286	39	325	58	27	85	344	66	410
	不明	1,179	115	1,294	427	553	980	1,606	668	2,274
エイズ患者	合計 ^{*3}	6,717	374	7,091	894	398	1,292	7,611	772	8,383
	異性間の性的接触	2,130	249	2,379	302	219	521	2,432	468	2,900
	同性間の性的接触 ^{*1}	3,209	3	3,212	165	2	167	3,374	5	3,379
	静注薬物使用	28	4	32	26	3	29	54	7	61
	母子感染	9	3	12	1	5	6	10	8	18
	その他 ^{*2}	170	23	193	27	15	42	197	38	235
	不明	1,171	92	1,263	373	154	527	1,544	246	1,790
HIV感染者+エイズ患者	合計	21,347	1,306	22,653	2,493	1,835	4,328	23,840	3,141	26,981
凝固因子製剤による感染者 ^{*4}		1,421	18	1,439	—	—	—	1,421	18	1,439

*1 両性間性的接触を含む。

*2 輸血などに伴う感染例や推定される感染経路が複数ある例を含む。

*3 平成11年3月31日までの病状変化によるエイズ患者報告数154件を含む。

*4 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の凝固因子製剤による感染者数

※死亡者報告数

感染症法施行後の任意報告数（平成11年4月1日～平成28年9月30日）	371 名
エイズ予防法 ^{*5} に基づく法定報告数（平成元年2月17日～平成11年3月31日）	596 名
凝固因子製剤による感染者の累積死亡者数 ^{*6}	706 名

*5 エイズ予防法第5条に基づき、血液凝固因子製剤による感染者を除く。

*6 「血液凝固異常症全国調査」による2015年5月31日現在の報告数

感染症法に基づくHIV感染者・エイズ患者情報
HIV感染者及びエイズ患者の都道府県別累積報告状況

ブロック名		都道府県名		HIV感染者								エイズ患者							
				今回		前回		累 計				今回		前回		累 計			
				報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕	報告地	〔居住地〕		
北海道	1 北海道	7	〔6〕	3	〔2〕	288	1.5%	〔171〕	〔1.9%〕	5	〔3〕	4	〔4〕	168	2.0%	〔83〕	〔2.0%〕		
東北	2 青森県	1	〔0〕	0	〔0〕	50	0.3%	〔19〕	〔0.2%〕	0	〔0〕	1	〔1〕	31	0.4%	〔13〕	〔0.3%〕		
	3 岩手県	0	〔0〕	2	〔1〕	30	0.2%	〔12〕	〔0.1%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	32	0.4%	〔15〕	〔0.4%〕		
	4 宮城県	3	〔3〕	1	〔0〕	128	0.7%	〔58〕	〔0.7%〕	0	〔0〕	2	〔2〕	90	1.1%	〔52〕	〔1.3%〕		
	5 秋田県	0	〔0〕	0	〔1〕	23	0.1%	〔8〕	〔0.1%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	24	0.3%	〔11〕	〔0.3%〕		
	6 山形県	0	〔0〕	2	〔1〕	27	0.2%	〔13〕	〔0.1%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	23	0.3%	〔6〕	〔0.1%〕		
	7 福島県	3	〔3〕	0	〔1〕	72	0.4%	〔39〕	〔0.4%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	48	0.6%	〔20〕	〔0.5%〕		
	ブロック計	7	〔12〕	5	〔4〕	330	1.8%	〔155〕	〔1.8%〕	0	〔3〕	3	〔3〕	248	3.0%	〔120〕	〔2.9%〕		
関東・甲信越	8 茨城県	2	〔2〕	3	〔4〕	535	2.9%	〔133〕	〔1.5%〕	0	〔1〕	4	〔4〕	326	3.9%	〔89〕	〔2.2%〕		
	9 栃木県	0	〔0〕	2	〔2〕	246	1.3%	〔73〕	〔0.8%〕	3	〔2〕	1	〔1〕	199	2.4%	〔61〕	〔1.5%〕		
	10 群馬県	1	〔2〕	2	〔2〕	192	1.0%	〔75〕	〔0.9%〕	1	〔0〕	3	〔2〕	142	1.7%	〔46〕	〔1.1%〕		
	11 埼玉県	11	〔10〕	4	〔6〕	525	2.8%	〔426〕	〔4.8%〕	6	〔7〕	6	〔5〕	354	4.2%	〔193〕	〔4.7%〕		
	12 千葉県	8	〔9〕	4	〔6〕	787	4.2%	〔384〕	〔4.4%〕	3	〔5〕	4	〔4〕	536	6.4%	〔212〕	〔5.2%〕		
	13 東京都	98	〔74〕	92	〔69〕	6,931	37.3%	〔2,689〕	〔30.6%〕	30	〔26〕	30	〔29〕	2,106	25.1%	〔868〕	〔21.1%〕		
	14 神奈川県	15	〔12〕	11	〔13〕	1,248	6.7%	〔620〕	〔7.0%〕	8	〔6〕	4	〔3〕	610	7.3%	〔250〕	〔6.1%〕		
	15 新潟県	0	〔0〕	2	〔2〕	92	0.5%	〔31〕	〔0.4%〕	1	〔0〕	1	〔1〕	60	0.7%	〔25〕	〔0.6%〕		
	16 山梨県	2	〔0〕	1	〔1〕	115	0.6%	〔34〕	〔0.4%〕	0	〔0〕	2	〔1〕	49	0.6%	〔14〕	〔0.3%〕		
	17 長野県	2	〔2〕	0	〔0〕	305	1.6%	〔61〕	〔0.7%〕	2	〔2〕	1	〔1〕	199	2.4%	〔54〕	〔1.3%〕		
ブロック計	139	〔111〕	121	〔105〕	10,976	59.0%	〔4,526〕	〔51.4%〕	54	〔49〕	56	〔51〕	4,581	54.6%	〔1,812〕	〔44.0%〕			
北陸	18 富山県	0	〔0〕	2	〔2〕	39	0.2%	〔18〕	〔0.2%〕	0	〔0〕	1	〔1〕	30	0.4%	〔12〕	〔0.3%〕		
	19 石川県	2	〔1〕	0	〔0〕	80	0.4%	〔46〕	〔0.5%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	38	0.5%	〔24〕	〔0.6%〕		
	20 福井県	0	〔0〕	0	〔1〕	48	0.3%	〔22〕	〔0.3%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	34	0.4%	〔22〕	〔0.5%〕		
	ブロック計	2	〔1〕	2	〔3〕	167	0.9%	〔86〕	〔1.0%〕	0	〔0〕	1	〔1〕	102	1.2%	〔58〕	〔1.4%〕		
東海	21 岐阜県	3	〔1〕	11	〔5〕	157	0.8%	〔110〕	〔1.3%〕	2	〔3〕	2	〔1〕	122	1.5%	〔88〕	〔2.1%〕		
	22 静岡県	3	〔4〕	4	〔2〕	421	2.3%	〔160〕	〔1.8%〕	1	〔1〕	4	〔4〕	207	2.5%	〔83〕	〔2.0%〕		
	23 愛知県	15	〔15〕	20	〔21〕	1,098	5.9%	〔600〕	〔6.8%〕	13	〔12〕	7	〔5〕	569	6.8%	〔417〕	〔10.1%〕		
	24 三重県	1	〔1〕	3	〔4〕	156	0.8%	〔78〕	〔0.9%〕	1	〔1〕	0	〔0〕	87	1.0%	〔45〕	〔1.1%〕		
ブロック計	22	〔21〕	38	〔32〕	1,832	9.9%	〔948〕	〔10.8%〕	17	〔17〕	13	〔10〕	985	11.7%	〔633〕	〔15.4%〕			
近畿	25 滋賀県	1	〔1〕	0	〔0〕	76	0.4%	〔48〕	〔0.5%〕	1	〔1〕	0	〔0〕	63	0.8%	〔34〕	〔0.8%〕		
	26 京都府	4	〔2〕	2	〔2〕	242	1.3%	〔137〕	〔1.6%〕	2	〔2〕	1	〔0〕	120	1.4%	〔62〕	〔1.5%〕		
	27 大阪府	28	〔22〕	28	〔26〕	2,371	12.8%	〔1,233〕	〔14.0%〕	11	〔8〕	10	〔10〕	768	9.2%	〔534〕	〔13.0%〕		
	28 兵庫県	6	〔4〕	2	〔3〕	398	2.1%	〔300〕	〔3.4%〕	2	〔3〕	5	〔5〕	225	2.7%	〔136〕	〔3.3%〕		
	29 奈良県	1	〔1〕	0	〔0〕	108	0.6%	〔62〕	〔0.7%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	73	0.9%	〔45〕	〔1.1%〕		
	30 和歌山県	5	〔3〕	0	〔0〕	66	0.4%	〔43〕	〔0.5%〕	0	〔0〕	1	〔1〕	50	0.6%	〔19〕	〔0.5%〕		
	ブロック計	45	〔33〕	32	〔31〕	3,261	17.5%	〔1,823〕	〔20.7%〕	16	〔14〕	17	〔16〕	1,299	15.5%	〔830〕	〔20.2%〕		
中国・四国	31 鳥取県	0	〔0〕	1	〔1〕	15	0.1%	〔7〕	〔0.1%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	17	0.2%	〔14〕	〔0.3%〕		
	32 島根県	0	〔0〕	0	〔0〕	19	0.1%	〔10〕	〔0.1%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	7	0.1%	〔2〕	〔0.0%〕		
	33 岡山県	2	〔1〕	5	〔5〕	139	0.8%	〔91〕	〔1.0%〕	1	〔1〕	0	〔1〕	75	0.9%	〔40〕	〔1.0%〕		
	34 広島県	5	〔4〕	4	〔4〕	220	1.2%	〔122〕	〔1.4%〕	0	〔0〕	1	〔0〕	113	1.3%	〔88〕	〔2.1%〕		
	35 山口県	4	〔3〕	0	〔0〕	63	0.3%	〔41〕	〔0.5%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	22	0.3%	〔14〕	〔0.3%〕		
	36 徳島県	1	〔1〕	0	〔0〕	39	0.2%	〔31〕	〔0.4%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	21	0.3%	〔13〕	〔0.3%〕		
	37 香川県	0	〔0〕	1	〔0〕	61	0.3%	〔41〕	〔0.5%〕	0	〔0〕	0	〔1〕	46	0.5%	〔35〕	〔0.9%〕		
	38 愛媛県	0	〔0〕	1	〔1〕	77	0.4%	〔32〕	〔0.4%〕	1	〔1〕	1	〔0〕	56	0.7%	〔33〕	〔0.8%〕		
	39 高知県	2	〔2〕	2	〔2〕	39	0.2%	〔25〕	〔0.3%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	27	0.3%	〔19〕	〔0.5%〕		
	ブロック計	14	〔11〕	14	〔13〕	672	3.6%	〔400〕	〔4.5%〕	2	〔2〕	2	〔2〕	384	4.6%	〔258〕	〔6.3%〕		
九州・沖縄	40 福岡県	14	〔12〕	13	〔13〕	498	2.7%	〔330〕	〔3.8%〕	12	〔10〕	11	〔11〕	265	3.2%	〔197〕	〔4.8%〕		
	41 佐賀県	0	〔0〕	1	〔1〕	31	0.2%	〔32〕	〔0.4%〕	2	〔3〕	1	〔0〕	17	0.2%	〔16〕	〔0.4%〕		
	42 長崎県	0	〔1〕	0	〔0〕	49	0.3%	〔25〕	〔0.3%〕	0	〔0〕	0	〔0〕	33	0.4%	〔19〕	〔0.5%〕		
	43 熊本県	1	〔0〕	3	〔3〕	85	0.5%	〔43〕	〔0.5%〕	2	〔2〕	0	〔0〕	59	0.7%	〔44〕	〔1.1%〕		
	44 大分県	1	〔1〕	2	〔2〕	54	0.3%	〔34〕	〔0.4%〕	1	〔1〕	1	〔1〕	28	0.3%	〔22〕	〔0.5%〕		
	45 宮崎県	2	〔2〕	0	〔0〕	52	0.3%	〔39〕	〔0.4%〕	1	〔1〕	0	〔0〕	40	0.5%	〔30〕	〔0.7%〕		
	46 鹿児島県	3	〔5〕	0	〔0〕	84	0.5%	〔55〕	〔0.6%〕	1	〔1〕	1	〔0〕	62	0.7%	〔32〕	〔0.8%〕		
	47 沖縄県	4	〔2〕	5	〔5〕	219	1.2%	〔137〕	〔1.6%〕	0	〔0〕	2	〔2〕	112	1.3%	〔60〕	〔1.5%〕		
ブロック計	25	〔23〕	24	〔24〕	1,072	5.8%	〔695〕	〔7.9%〕	19	〔18〕	16	〔14〕	616	7.3%	〔420〕	〔10.2%〕			
合計		261	〔212〕	239	〔214〕	18,598	100%	〔8,798〕	〔100.0%〕	113	〔103〕	112	〔101〕	8,383	100%	〔4,115〕	〔100.0%〕		

※〔報告地〕：昭和60年から集計
※〔居住地〕：最近数年間の主な居住地（平成19年4月から記載）

後天性免疫不全症候群発症国出（抜粋）
①最近数年間の主な居住地
1)日本国内（都道府県）
2)その他（ ）
3)不明